

<問題 - ( 2 ): 建設環境 >

1. 環境影響評価法で規定する事後調査の考え方について、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
  - a. 予測の不確実性が大きい場合、効果に係る知見が不十分な環境保全措置を講ずる場合等が検討の対象となる。
  - b. 工事中及び供用後の環境の状態等を把握するための調査の必要性を検討する。
  - c. 他機関ではなく、事業者自身が責任を持って実施できる調査を検討する。
  - d. 環境影響評価の結果との比較検討が可能なように調査手法等を設定する。
  
2. 次の大気汚染物質のうち、環境基準が設定されていないものを a~d のなかから選びなさい。
  - a. 二酸化窒素 (  $\text{NO}_2$  )
  - b. 浮遊粒子状物質 (  $\text{SPM}$  )
  - c. 二酸化硫黄 (  $\text{SO}_2$  )
  - d. 炭化水素 (  $\text{HC}$  )
  
3. 道路交通騒音の評価に用いる指標について、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
  - a. 騒音レベルの中央値 (  $L_{50}$  )
  - b.  $\text{WECPNL}$
  - c. 騒音レベルの 90%レンジの上端値 (  $L_5$  )
  - d. 等価騒音レベル (  $L_{eq}$  )
  
4. ダム事業の「ダムの供用及び貯水池の存在」において、考慮すべき水質の影響の項目について、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
  - a. 水温
  - b. イオン濃度
  - c. 化学的酸素要求量
  - d. 浮遊物質

5. 京都議定書の法的拘束力の根拠となっている国際法の略称として正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. ウィーン条約
  - b. 気候変動枠組条約
  - c. 地球温暖化対策推進条約
  - d. スtockホルム条約
6. 京都メカニズムとは、京都議定書に基づく国としての数値約束を達成するために設けられた仕組みのうち誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 共同実施
  - b. クリーン開発メカニズム
  - c. 国際排出量取引
  - d. モーダルシフト
7. 環境影響評価法に示される環境アセスメントの概念として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 環境アセスメントの実施に先立ち、事業者は自治体の意見を聞きながら最も適切な手法を選定し、この結果を方法書としてとりまとめる。
  - b. 調査、予測および評価の手法の検討にあたっては、簡略化手法、標準手法、重点手法の優先順で最も適切なものを選定する。
  - c. 環境保全措置の検討にあたっては、代償、低減、回避の優先順で対策の検討を行う。
  - d. 環境保全措置の効果が確実である場合を除き、工事後もその効果について調査を実施し、必要に応じて追加措置を検討する。
8. 環境基本法において挙げられている「4つの長期目標」のキーワードの組み合わせとして正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 「大気」「水」「大地」「人間」
  - b. 「地球温暖化」「循環型社会」「生物多様性」「協働実施」
  - c. 「汚染者負担原則」「環境効率性」「予防的方策」「環境リスク」
  - d. 「循環」「共生」「参加」「国際的取組」

9. 環境影響評価において「景観」の予測および評価にあたって検討すべき項目の正しい組み合わせを a～d のなかから選びなさい。
- a. シーン景観とシークエンス景観
  - b. 眺望景観と圍繞景観
  - c. 自然景観と人工景観
  - d. 外部景観と内部景観
10. ダム湖における富栄養化対策として挙げることの出来る環境保全措置として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。
- a. 中和処理施設の設置
  - b. 選択取水施設の設置
  - c. 曝気循環施設の設置
  - d. 堆積土砂の浚渫
11. ある一定の地域内において、生物の生息・生育空間を確保する際の考え方として、生物の多様性を高めるという点で誤っているものを a～d のなかから選びなさい。
- a. 確保できる生物生息空間が同面積ならば、分離した状態よりひとつにまとめた方が良い。
  - b. 生物生息空間の面的形状は、円形よりも細長い回廊状の方が好ましい。
  - c. 生物生息空間の面積は大きければ大きいほど良い。
  - d. 不連続な生物生息空間は、生態学的回廊（コリドー）で連続させると良い。
12. ダムの建設や河川改修により、河川本来の環境攪乱が生じにくくなっていることが懸念されているが、その影響として誤っているものを a～d のなかから選びなさい。
- a. 河床が平滑化し、流れの多様性が減少する。
  - b. 砂州の固定化が進み、河道内の樹林化が進行する。
  - c. 河原面積が増大し、先駆性植物が優占する傾向が生じる。
  - d. 細粒土砂の供給が減少し、河床材料が砂礫化する。

13. 複数の異質な生態系の中に存在し、一方の環境から他方の環境へと移行していく部分で、多様な生物の生息場あるいは移動経路として利用されるエリアの名称として正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. コリドー
  - b. パッチ
  - c. エコトーン
  - d. エコトープ
14. 環境にやさしいクリーンエネルギー車として誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. メタノール自動車
  - b. 天然ガス自動車
  - c. ディーゼル自動車
  - d. ハイブリット自動車
15. 環境基本法に基づいて設定されている環境基準において、一般地域とともに道路に面する地域の基準が定められているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 大気汚染
  - b. 騒音
  - c. 水質汚濁
  - d. 土壌汚染
16. ヒートアイランド対策として必ずしも効果的といえないものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 低公害車の普及促進
  - b. 緑化の推進
  - c. 水路の設置・再生
  - d. 舗装の推進

17. 再生利用エネルギーとして誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 太陽光
  - b. 風力
  - c. 天然ガス
  - d. バイオマス
18. 水質汚濁に係る環境基準で、生活環境の保全に係る環境基準として定められている項目で a~d のなかから選びなさい。
- a. 鉛
  - b. カドミウム
  - c. P C B
  - d. B O D
19. 日本の絶滅のおそれのある野生生物の種に係るレッドデータブックのカテゴリーで誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 絶滅危惧
  - b. 準絶滅危惧
  - c. 希少種
  - d. 情報不足
20. わが国のラムサール条約登録湿地で誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 釧路湿原
  - b. 十和田湖
  - c. 藤前干潟
  - d. 琵琶湖